わたしが あなたがたを愛したように、 笠いに 愛し合いなさい。 これがわたしの掟である。

イエスさまのことば(ヨハネ15章12節)

豊かな恵みを祈りましょその人のために神さまの 天の父のみこころが行われるためです。わたしの思いではなく、 イエスさまと同じ愛でひとつになること。イエスさまがわたしたちにお望みなのは ほんの小さな悪なも、 ただにこにこと優しいだけでもなく、 たとえ仲良くできない相手がいてもながま イエスさまの示してくださった ただ好きとか仲良しというのではなく その愛を生きるということです。 神さまの そのひとつひとつが たされますように。 祝福 お望みなのは されます。 簡 じゅん かかり が節 **29** むいか 8 13 6 《禁命号》《公司》 聖土曜日 四旬節 4/21t、バチカンで ・ヨハネパウロ2世】 調節の配回 とパーティー





まなさん でもず **と**をむ





イースターエッグの

きサ夜7時



時で







過越祭の食事とは、家族が集まって、 神さまが歴史をとおして祖先に示して さくだった教いのみみざを語って思い起こし、 ・サウビ は、たね にがない かいかか 小羊の内、種なしパン、苦菜とぶどう酒 をいただき、皆で祈る、というものでした。

イエスさまは

ご自身を 模集余章 し |= な りまし

この世から イエスは、 な 父のもとへ移る 御自分の時が来たことを悟り、

聖書のことば(ヨハネ13章1節)

召し使る客の 主であり、 足を洗い合わなけれ あなたべたの足を洗ったのだか 節に 洗うの 事でし ۲" あるおたし 1=0



これが最後と知らない弟子たちは、おたしたちは、今日のこの日がいないないない。 してスさまの必死の思いを 最後の一日としたら、

かにつた がないないないます。 雑に何を伝えるでしょう 最後の晩餐でのイエスさまの かみしめまじょう。

ハエスさま

緒

=

食事をしている仲間の

あなたがたに新しい掟を覧える。笠いの愛に合いなか わたしが あなたがたを愛したように… ヨハネ 13:34 友をわたしは平 あなたがらめ わたしの時 わたいこうながっていなさい つながらている。 みなしごにはしておかない 悟らせ ヨハ本 スさまは最後に御父を賛美し、それ

to なたが は、仕える者のようにないちばん若い者のように イエスさまのこと んは 人從 1ルカ 22 は j 26



あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、 名たしはもかに願っていた。』 - イエスさまのことば【ルカ22章15節】

イスカリオテのユダーのでは、 もうすでにイエスさまから高能れてしまって いました。

皆のお金も預かる係でありながら、 (ヨハネ12章 6節)は、この食事の前 すでにイエスさまを裏切る準備をし、 銀貨30枚でイエスさまを"敵"に り渡す約束をしていました。 (291 26章 14~16節) ・ユダは、この食事の途中で外に出て行って しまいます【ヨハネ13章27~30節】。

VERBUM CARO PANEM VERUM VERBO CARNEM EFFICIT-FITQUE SANGUIS CHRISTI MERUM

<u> 291</u> 26: 26~30, <u>211</u> 14:22~26

ルカ 22:15~20, Iコリント 11:23~25

どうして「最後」なのでしょう?

これは わたしの体 これはわたしの血の杯

このように行いなさい

これが 最後の食事になることを 知っていたのは イエスさま だけ

イエスさまは、この最後の食事に

どんな思いを込められたでしょう。

最後の晩餐」として、 イエスさまは 12人の弟子たちと ひとつの過越の食卓も 囲まれました。

《すべてはご復活の神秘のうちに》

その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。(16:22

エスさまを 2 E はを分かって、 たち たちでさえ

仰が無い ··· CAL SHOKE 自分のことしか見えて ۲ 覚悟しております。」と、自信満々に答える ペトロに、イエスさまは おっしゃいました。 ・ロ、言っておくか、 鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと 言うであろう。』











#じこもれびゅる バックナンバーは、インターネットで見てわカトリック荻窪教会 もしもし 03-3334-8216 (FAX-8261) 日本の かけっかい 全日のミサーフ:30~/10:00~ http://www.kotonanoki.com/